

Social Service for the Aged and the Community

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-07-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Iwamoto, Takeyoshi メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00051809

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



高齢者福祉サービスと地域社会

課題番号 11410045

平成11～13年度科学研究費補助金〔基盤研究(B)(2)〕

研究成果報告書

2002年3月

研究代表者 岩本健良

(金沢大学文学部助教授)

金沢大学図書印書館



8011-05252-7

1117
2001
13

1. 研究組織 (所属・肩書は 2002 年 3 月時点)

研究代表者

碓井 崧 吉備国際大学・社会学部 教授 (平成 11,12 年度代表;平成 13 年度は研究分担者)
岩本 健良 金沢大学・文学部 助教授 (平成 13 年度代表;平成 11,12 年度は研究分担者)

研究分担者

橋本 和幸 金沢大学・文学部 教授
溝部 明男 金沢大学・文学部 教授
田邊 浩 金沢大学・文学部 助手

研究協力者

吉田 行宏 金沢大学・社会環境科学研究科 大学院生 (博士課程)
俵 希實 金沢大学・社会環境科学研究科 大学院生 (博士課程)
劉 晴暄 金沢大学・社会環境科学研究科 大学院生 (博士課程)
Adriana Edith Edwards 金沢大学・社会環境科学研究科 大学院生 (修士課程)
田中 純一 金沢大学・社会環境科学研究科 大学院生 (修士課程)

2. 交付決定額 (配分額)

(金額単位:千円)

	直接経費	間接経費	合計
平成 11 年度	1,900	0	1,900
平成 12 年度	1,500	0	1,500
平成 13 年度	1,700	0	1,700
総計	5,100	0	5,100

3. 研究発表 (図書)

橋本和幸・碓井 崧・三上勝也・交野正芳(編)2002『高齢化社会と生活選択:金沢市・岡崎市調査』
多賀出版 437+XX p.

4. 研究実績の概要

高齢者福祉サービスに関し、日本との対比でいくつかの特徴的な国の状況を検討した。日本では集権化システムから分権化・市場化・ネットワーク化システムへ変遷し、今日では多様化と格差がもたらされている。英米では、ブレア・クリントン路線で進められた「第三の道」について考察した。とりわけ、福祉最小限主義の根強いアメリカでの成否を巡り、福祉の状況について調査した。対するスウェーデンでは地方自治体の役割が大きい。スウェーデンの高齢者福祉制度は、高齢者のニーズの多様化の認識、それに応えるための分権化、制度のたえざるチェックとしての各レベルにおける点検評価、という3本の柱によって構成されており、それらの基底には「人間の尊厳の尊重」と“mutual self help” という価値観がある。オランダにおいては、近年の社会改革が「オランダモデル」と呼ばれ着目されている。個人の自立性を第一として尊重し、地域社会をベースにした高齢者自身による高齢者のためのNPOが行政をリードし、先進的な試みも積極的に試行している。

日本においては地域の具体的事例として、金沢のコミュニティと善隣館との関係、鎌倉市民活動センターとNPOの関係を考察した。現代社会のさまざまなリスクに対応して、教育・労働・保健・医療・福祉などのコンフリクト処理機能が求められ、そのためには行政・企業・個人・地域社会ないし諸集団、の4者の協同が必要となる。また、金沢市内の4つの地域を選んで郵送調査を行い、住民の購買行動や定住志向、また地域福祉や環境問題への取組み形に注目して、インナーエリアと周辺部における住民の生活行動を分析し、地域構造の違いを明らかにした。

5. キーワード

- (1) コミュニティ
- (2) 地域行政
- (3) 非営利組織(NPO)
- (4) 協同 (コラボレーション)
- (5) 分権
- (6) 比較研究

ABSTRACTS OF RESEARCH PROJECT, GRANT-IN-AID
FOR SCIENTIFIC RESEARCH (2001)

1. RESEARCH INSTITUTION NUMBER : 13301
2. RESEARCH INSTITUTION : Kanazawa University
3. CATEGORY : Grant-in Aid for Scientific Research (B)(2)
4. TIME OF PROJECT : 1999-2001
5. PROJECT NUMBER : 11410045
6. TITLE OF PROJECT : Social Service for the Aged and the Community
7. HEAD INVESTIGATOR (REGISTERED NUMBER / NAME / INSTITUTION, DEPARTMENT, TITLE OF POSITION)

50211066 / IWAMOTO Takeyoshi / Kanazawa University, Faculty of Letters, Associate Professor

8. INVESTIGATORS (REGISTERED NUMBER / NAME / INSTITUTION, DEPARTMENT, TITLE OF POSITION)

(1) 40079447 / USUI, Takashi / Kibi International University, School of International and Industrial Studies, Professor

(2) 80031798 / HASHIMOTO, Kazuyuki / Kanazawa University, Faculty of Letters, Professor

(3) 90127124 / MIZOBE, Akio / Kanazawa University, Faculty of Letters, Professor

(4) 50293329 / TANABE, Hiroshi / Kanazawa University, Faculty of Letters, Assistant

9. SUMMARY OF RESEARCH RESULTS

We examined the social service for the aged in some countries in comparison to the Japanese one. In Japan, the centralization system has been undergoing a process of decentralization; and in addition, marketing and network system, and diversity and difference are being introduced into the modern Japanese system.

It has been taken under consideration both the cases of USA and UK, where "the third way" advanced in accordance with the Blair-Clinton Line. Especially, the situation of welfare systems was examined as to welfare minimalism.

In Sweden, on the contrary, local government plays an important role in the social service for the aged. It consists of three points; namely, reorganization of various systems for the attention of aged people's needs, decentralization, and inspection and assessment of each level in the institutions, which are based on "respect for the dignity of man" and "mutual self help".

In Holland, a social revolution in recent years called "Holland Model" is presently in the spotlight, which puts self-reliance as a prior issue, and makes a positive attempt at providing the leadership for the NPOs founded by the aged for the aged in the communities.

For Japan, we considered the study cases in local areas which are representative of the relationship between communities and 'Zenrinkan' in Kanazawa city, and between the civil center and NPOs in Kamakura city. Capability of conflicts resolution in various fields such as education, labor, health, medical issues and welfare is needed against various risks in modern society. Therefore, collaboration of administration, companies, individuals, local societies and other groups is recognized as necessary. Moreover, we did a mail survey which includes the inner area and the

peripheral area in Kanazawa city. We analyzed the dwellers' life action by focusing on their buying behavior, the intention of settlement, the characteristics of local welfare, and the environmental issues. The data provided evidence about the difference between the two areas regarding the community social structure.

10. KEY WORDS

- (1) community (2) local administration (government) (3) NPO
(4) collaboration (5) decentralization (6) comparative research

11. REFERENCES

AUTHORS : HASHIMOTO, Kazuyuki / USUI, Takashi / MIKAMI, Katsuya / KATANO, Masayoshi (eds.)

TITLE OF BOOK : 'Advanced Aging Society and Life Selection : Kanazawa-City and Okazaki-City Survey'
(in Japanese)

(Koureika Shakai to Seikatsu Sentaku: Kanazawa-shi Okazaki-shi Chousa)

PAGES CONCERNED, YEAR : Taga Shuppan, 437+XX pp., 2002.

本研究では、高齢者福祉を、組織的・社会的なコンテキストの面から位置づけ、今後の可能性を展望することにある。当初の構想は、次のようなものであった。

(1) 高齢者福祉の担い手

高齢者福祉における公私の分担、地域社会における担い手、専門職・行政担当者の役割、協同的共同的担い手など多角的に福祉サービスの担い手を明らかにしていく。高齢社会における自助・互助論、福祉資源の配分と動員について基礎理論を社会学の立場から提言し、国内比較・国際比較を通して地域社会における現状を明らかにする。

(2) 集権化・分権化構造

福祉の分野は、資源動員と意思決定に密接に関連しているので、高齢者保健福祉十年戦略（ゴールドプラン）の実施過程を主なテーマとして、地域福祉、福祉行政、福祉組織を集権化・分権化の過程としてとらえ、集権化・分権化の理論の水準向上に資したい。福祉行政の分権化としては、広域圏での対応の進行に注目して調査する。

(3) コミュニティレベルでの比較調査（国内）

中部圏を中心に数地点を選んで比較研究をする。家族・近隣・コミュニティでのケア、在宅ケアか施設ケアか、生活構造、地域のアメニティ、福祉ネットワークの地域での広がり、地域の高齢者福祉計画とその達成など総合的に調査し検討する。

(4) コミュニティレベルでの比較調査（国際比較）

国内調査を主にするため、やや副次的になるが、欧米諸国での対応とを比較しながら問題認識を深めていきたい。米英独仏北欧の研究機関とコンタクトをもちつつ、国内調査に対応するデータを事例研究的にすすめたい。

(5) 保健福祉医療組織の専門職調査

高齢者福祉計画の中ではマンパワー問題が大きな課題になっている。福祉専門職の専門職化、クライアントの満足などを中心に組織調査を実施する。

(6) 調査結果の総合

家族・地域・行政・教育・専門職組織・ボランティアについてえられた調査結果を相互に関連づけ、高齢者福祉と現状と将来のシステム設計に資する整理を行ないたい。

研究の進展に伴い（また予算面の制約もあり）、上に述べた構想からターゲットを絞る形で各自が研究を進めた。当初は、碓井教授（当時、金沢大学文学部）が研究代表者であったが、定年に伴う吉備国際大学への転出のため、実務的な継続性の面から、最終年度(2001年度)は岩本が代表者を務めることとなった。日本社会学会データベース委員会のデータベース構築業務に以前からずっと追われていたこともあり、十分な時間を割く

ことは困難であったが、研究分担者が連携しつつ自律的に研究を進めた。2000年冬に、スウェーデンの福祉の事情に詳しく、現地での在外研究の経験もある、西下彰俊教授（金城学院大学）を招いてワークショップを開き、スウェーデンでの状況報告とわれわれの研究への示唆をいただいたことも有益であった。研究成果の概要については、「研究組織等」の項で別途述べたので、そちらを参照されたい。科学研究費によるプロジェクトは本報告の刊行をもって終了するが、この成果を踏まえたさらなる研究も進められている。

最後になるが、調査やインタビュー・資料収集等に際し、国内外の多くの方々にご協力頂いた。また、本報告書の編集・印刷に際しては、田中昭文堂印刷の富田氏に大変お世話になった。記して感謝申し上げたい。

目 次

研究組織等

ABSTRACTS OF RESEARCH PROJECT

はしがき・・岩本 健良

第1部 欧米諸国の高齢者福祉と行政

第1章 集権化・分権化・ネットワーク化・・・・・・・・・・・・・・・・	碓井 崧	1
－高齢者福祉サービスのシステム変動－		
第2章 福祉国家の革新－ギデンズ「第三の道」論の検討－	田邊 浩	15
第3章 スウェーデンの自治体の福祉－リンショピングの事例－	碓井 崧	27
第4章 スウェーデンのレジデンシャル・ホーム訪問記	溝部 明男	31
第5章 大都市における高齢者福祉政策－ニューヨーク州の試み－	田邊 浩	71
第6章 中世タウン・ボストンの現在－ボストン踏査－	橋本 和幸	85
第7章 社会基盤としての文献データベース作成機関		
－IBSS Office(イギリス)と SRM-Documentation Centre		
(オランダ)訪問記－		
	岩本 健良	95

第2部 金沢の事例から：地域住民の意識と活動

調査概要		99
第1章 コンフリクト処理の複雑・オープンシステム	橋本 和幸	103
－コミュニティとアノミー－		
第2章 地域福祉サービスに関する住民の評価および活動参加	劉 晴暄	117
第3章 自然保護活動に対する地域住民の意識と行動	田中 純一	125
第4章 Long-term Settlement and the "Will to Move"	Adriana Edith Edwards	135
－A Quantitative Analysis of People's View of Their		
Living Space－		
(長期定住と「移動意志」		
－生活スペースにとって人々の見解について定性分析－)		
第5章 定住志向と人間関係	俵 希實	143
－2つのパースペクティブからの検討－		
第6章 金沢市における地域住民の購買行動	吉田 行宏	159
－「インナーエリア」と「周辺部」の比較－		
調査票・単純集計		175

第7章 社会基盤としての文献データベース作成機関 —IBSS Office(イギリス)とSRM-Documentation Centre(オランダ)訪問記—

岩 本 健 良

はじめに

イギリスもオランダも、福祉その他の社会政策において、時に先駆的なあるいは大胆な試みを打ち出してきた。その際には、社会の実情に即した、社会調査データや資料などもしばしば参考にされている。ひるがえって日本では近年、「構造改革」の必要性が様々な分野で叫ばれながら、現実のデータに基づいた議論があまりなされないこともあって、社会的コンセンサス（合意形成）をとりつけることがしばしば困難である¹⁾。社会学的視点で言えば、日本と比べて、高い自己組織性を持って、安定的で着実な組織変革を可能にする社会システムを持つといえよう。

その両国の基盤となる社会背景を探るための1つのアプローチとして、2000年9月下旬に、イギリスのIBSS Office およびオランダのSRM Documentation Centre を訪問し、事情を伺う機会を得た²⁾。両者は、それぞれ、社会科学全般、講義の社会調査法を対象とする、文献データベースを継続的に作成している機関である。それぞれ、数年前に文献データベースのことで郵便や電子メールでやりとりしたことがあるので、今回も電子メールでコンタクトをとり、打ち合わせて訪問した。担当者はいずれも当時と代わっていたが、どちらも、遠隔の国からの珍しい訪問者として非常に歓迎していただいた。

イギリスもオランダも、かつて海洋国家として「東インド会社」を設立するなど、貿易を通じて世界の覇権国となり繁栄をもたらした、という共通点がある。両国が、世界を対象にした大規模なデータベースの作成を、国を挙げて取り組んでいるのは、そうした歴史と伝統・誇りに裏打ちされているように思われる。現代的なとらえ方をすれば、グローバルな情報蓄積がもつ戦略的意義とその価値を深く認識しているということになるだろう。むしろ、学術的な文献データベースの意義は、一国の経済的な利益というよりは、広く国際的な学術的・公共的な財産という面が強い。しかしながら、その作成機関が自国に存在することは、情報センターとして国家戦略的な意義も持つことも、見逃してはならないであろう³⁾。

以下では、筆者のメモに基づいて、2つの機関の状況を記す。どちらもインターネットによるホームページを持っているので、さらに関心をお持ちの際はそれぞれ示したurlを参照されたい。

1. IBSS Office <http://www.lse.ac.uk/IBSS/>

(IBSS=International Bibliography of the Social Sciences)

日時： 2000年9月21日 10:30-12:00

場所： IBSS Office (London School of Economics and Political Science(LSE)
の附属図書館の1セクション； ロンドン；
現在、大改築中のため、図書館ごと一時移転中)

面談相手： Csanád Siklós氏 Editorial Manager (1998年よりヘッド)
Liam Earney氏 (Assistant Editorial Manager) は協で作業をしながら、
必要な部分部分で会話に参加。

お渡ししたもの： 『社会学文献目録』1998年版(日本社会学会データベース委員会編 2000)

「社会学文献情報データベース 検索マニュアル・検索結果例」
(文部省科学研究費<データベース>申請の際に添付した資料のコピー)
International Journal of Japanese Sociology(IJJS; 日本社会学会欧文誌),
Behaviormetrika (行動計量学会英文誌) 各目次
(WWW ページのプリントアウト)

1.1 IBSS の概要

(1) 組織

IBSS のスタッフ: 専任 6 名 <http://www.lse.ac.uk/IBSS/staff.htm>

部屋: 約 3 室 で世界中の社会科学の文献を相手に。

近年は文献の約半数は abstracts も収録。

欧文に限らず、言語を問わず世界中の文献を収集している点が特色。

(2) データ作成プロセス

(2.1) 基になる文献情報

(a) 各国から送付の文献データ (日本社会学会から毎年送付のデータも、ここに含まれる)

(b) 直接送付される雑誌 (その目次ページよりデータを作成)

(c) 出版社からの情報 (abstracts も含む; 主に雑誌)

(2.2) 編集プロセス

フィリピンの会社に入力委託

雑誌名でソート

スペルチェック、大文字・小文字の書式の統一 (冒頭以外は原則小文字)

MS-Word で最終の版下作成。

(3) 内容分類番号

細分類は年ごとに社会や研究分野の展開を見ながら見直し。

(ただし、大枠は同じ。日本社会学会の内容分類ともよく似ている。)

(4) 現在のサービス

これらは、データは同じもの。1), 2) の検索プロセスはほぼ共通。

1) WWW

毎週更新 (休暇中の一部は除く)。

イギリス国内の高等教育・研究機関: WWW から無料で利用 (個々の利用者登録は不要)

検索結果を印刷/ダウンロード/メールで好きなアドレスに送付

個人的には海外でもデータ提供機関・データ作成協力機関には、感謝の意味も込めてサービスしたいと思うが、他の事情 (財政上のスポンサーとの関係など) から今は無理。

2) CD-ROM

Silver Platter 社が販売 年 4 回更新

3) International Bibliography of the Social Sciences (IBSS) (書籍)

書籍は人類学・経済学・政治学・社会学の4分冊の形で、毎それぞれ年に1冊ずつ刊行。社会学は、International Bibliography of the Sociology という題名で刊行。

4) 今後の課題

他のデータベース作成機関との協力 (たとえば、British Libraray(大英図書館))
全文データベース(本文等も含む)への展開

1.2 日本社会学会との関係

これまで遠い国で直接の面識を持たなかった。今後は一層協力・連携を密にしたい。

- ・IJJS: ほとんどの号が届いていない。刊行の都度継続的に送っていただけないか。
- ・日本社会学会のデータベース委員のメンバー名を知りたい。

2. SRM Documentation Centre <http://www.niwi.knaw.nl/us/srm/srm.htm>

(SRM=Social Research Methodology)

日時: 2000年9月28日 10:00-11:30

場所: SRM Documentation Centre (アムステルダムの都心から少しはずれ)

(NIWI, the Netherlands Institute for Scientific Information Services の1セクション。3ヶ月前に改組統合。NIWIは、日本では国立情報学研究所(旧、学術情報センター)に当たる。以前は、ロッテルダムにあるエラスムス大学内の機関だった。この建物も3ヶ月前に完成(Nestle社の援助)。

面談相手: drs. Paul M. Doorenbosh 氏 (2人の上司、ただし専門は別)

drs. Roselle E. Servage 氏 Specialist Scientific Information

drs. A.H. Reendars (toos) 氏 Specialist Scientific Information

お渡ししたもの: 『社会学文献目録』1998年版(日本社会学会データベース委員会編2000)、「社会学文献情報データベース 検索マニュアル・検索結果例」(科研<データベース>申請の際に添付した資料のコピー)
IJJS 最新号(9号)

2.1 SRM Documentation Centre の概要

SRMの性格: 広義の社会調査法関連の欧文文献のデータベース

SRMのスタッフ: 上記の3名

Servage氏とReendars氏の2人で実質すべて切り盛り。いずれも大学院レベルの教育を受けた専門職。

データ作成プロセス

(a)直接送付される雑誌 (これが主)

目次ページよりデータ作成

(b)出版社からの情報

運営費

改組移転前は主に大学から。今は主にオランダ政府。加えて企業からのサポート。しかしそれでも不足。

現在のサービス

* CD-ROM : Sage 社が販売 年 2 回更新

今後の課題

WWW による無料公開を考えたい。(今は、Sage 社との関係もあってできない)

2.2 日本社会学会との関係

日本でどのような社会調査法関係の文献が発表されているのか知りたい。

・ 帰国後、『外国語文献目録』(Japan Sociological Society, 1998)のデータを添付ファイルで送っていただけませんか? (帰国後、送付した)

・ IJJS, Behaviormetrika (行動計量学会英文誌): 定期送付を希望
(IJJS は社会学全般なので、うち SRM の収録範囲の論文が掲載されれば収録したい。)

付記

この内容は、筆者が 2000 年 11 月に、日本社会学会データベース委員会委員 (筆者も委員の一人)・国際交流担当理事、及び学会事務局に対してお送りした、訪問記録を報告したメモが基になっている。本報告書収録にあたり、もっぱらデータベース委員会関係者向けの内容である部分を削除するとともに、補足を加えた。

注

- 1) オランダは、1980 年代には「オランダ病」と呼ばれていたが、社会改革に成功して「オランダモデル」と呼ばれるようになった。長坂 (2000) はその理由を、政府・企業・労働組合の合意形成、政府と NPO との協働関係、といった、「コンセンサス」(合意形成) システムと、「インテグレーション」(統合) による横断的・実践的な問題解決アプローチによるとらえている。
- 2) 各データベースの概要については、岩本 (1996, 1997) を参照のこと。
- 3) 日本社会学会での文献データベースに関する取り組みについては、日本社会学会データベース小委員会 (1993) に、当時の現状認識とその後の方策が述べられている。

参考文献

岩本健良 1996. 「<書評> SRM Database of Social Research Methodology on CD-ROM」

『理論と方法』11(1): p.83-85.

岩本健良 1997. 「社会学文献データベースの現状と展望 : 研究情報ネットワークの結節点として」

碓井 崧 編『地域組織とネットワーク』(科学研究費研究成果報告書) 金沢大学文学部 p.89-103.

Japan Sociological Society. 1998. Bibliography of Japanese Sociological Literature in Foreign Languages. Japan Sociological Society.

長坂寿久 2000. 『オランダモデル: 制度疲労なき成熟社会』日本経済新聞社

日本社会学会データベース小委員会 1993. 『日本社会学会データベース小委員会答申』

<<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jss/db/dbtosin1.html>>

第2部 金沢の事例から：地域住民の意識と活動

調査概要

1 調査の目的

都市の空洞化や郊外化が論じられるようになって久しい。都市のインナーエリアと周辺部では、生活様式や地域構造が異なり、それぞれの特性を有するという先行研究が多くみられる。特に近年インナーエリアでは、高齢化、企業流出等が問題となっており、住民生活にも影響を及ぼしている。そこで、金沢市におけるインナーエリアと周辺部を比較することによって、それぞれの地域がどのような特性を有しているのかを、購買、定住志向、福祉、環境の各方面から検討した。地域の特定に関しては、インナーエリア、周辺部の特性の1つである人口減少、人口増加を基準とした。

2 調査の方法

(1) 調査対象者

石川県金沢市在住の20歳以上80歳未満の男女（2000年11月8日現在）を対象とした。

(2) 標本抽出法

『金沢市統計書』（平成10年度版）に記載されている、昭和60年、平成2年、平成7年の校下別人口（国勢調査より）、『統計かなざわ』（NO.180）に記載されている平成12年3月1日の校下別人口（住民登録者、および外国人登録者、刑務所収容者、湘南学院収容者を含む）を比較した（校下とは市立小学校の通学区域のことである）。人口増加が最も著しい5校下（6投票区）と人口減少が最も著しい6校下（11投票区）を抽出した結果、人口増加が最も著しい5校下のいずれもが金沢市周辺部に、また人口減少が最も著しい6校下のいずれもがインナーエリアに位置していることが確認できたため、それぞれを、周辺部投票区地点とインナーエリア投票区地点という2地点とした。さらに、選挙人名簿を抽出台帳として、それぞれの地点から250人ずつを系統抽出した。

増加地域：間隔143

減少地域：間隔167

(3) 調査方法

郵送による質問紙調査である。2000年11月17日に調査票を発送し、11月30日を締め切りとした。回答を得られなかった対象者には依頼文を12月2日に葉書で発送し、さらに12月12日時点で回答を得られなかった対象者に再度調査票を郵送し、12月25日を最終締め切りとした。

(4) 回収率

標本数は500（インナーエリア=以下イ250、周辺部=以下周250）である。完全票の回収数は308（イ162周145）、回収率は61.6%（イ64.8%周58.0%）であった。

(5) 地点

インナーエリア

校下：明成、馬場、中央、味噌倉、新竪町、菊川

投票区：7, 8, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23

周辺部

校下：諸江、鞍月、木曳野、緑、三和

投票区：27、28、40、48、57、63

3. サンプルの概要

(1) 性別と年齢

年齢	インナーエリア				周辺部				合計
	男性		女性		男性		女性		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
20～39 歳	16	26.2	17	17	21	38.2	28	31.5	82
40～59 歳	18	29.5	38	38	21	38.2	42	47.2	119
60～79 歳	27	44.3	45	45	13	23.6	19	21.3	104
合計	61	100.0	100	100.0	55	100.0	89	100.0	305

(2) 教育年数

教育年数	インナーエリア		周辺部		合計
	実数	%	実数	%	
～9年	13	9.2	18	13.6	31
～12年	64	45.1	68	51.5	132
～14年	39	27.5	32	24.2	71
～16年	24	16.9	13	9.8	37
～18年	2	1.4	1	0.8	3
合計	142	100.0	132	100.0	274

(3) 職業

	インナーエリア		周辺部		合計
	実数	%	実数	%	
経営者、役員(重役)	8	5	5	3.5	13
常時雇用されている従業員	37	23.1	53	37.6	90
臨時雇用、パート、アルバイト	23	14.4	29	20.6	52
自営業主(雇用者なし)	10	6.3	4	2.8	14
自営業主(雇用者あり)	9	5.6	1	0.7	10
家族従業員(家業の手伝い)	12	7.5	8	5.7	20
内職	0	0.0	5	3.5	5
無職	57	35.6	36	25.5	93
学生	4	2.5	0	0.0	4
合計	160	100.0	141	100.0	301

(4) 居住年数

居住年数	インナーエリア		周辺部		合計
	実数	%	実数	%	実数
～9年	24	14.7	52	35.6	76
10～29年	56	34.4	65	44.5	121
30年～	83	50.9	29	19.9	112
合計	163	100.0	146	100.0	309

(以下の集計は基本的に、回答の比率(%)を示したものである。また、単純集計入力のため、実際の調査表とは若干形式が異なっている。)

「地域社会と高齢者福祉」に関する調査

お願い

今日、社会はめまぐるしく変化しています。そこでわたしたちは文部省科学研究費の補助金により、地域生活の変化が住民生活にどのように影響を及ぼしているかを把握するためにアンケート調査を行うことにしました。お忙しいところまことに恐縮ですが、しばらくのあいだご協力ください。

なおこの調査結果については、本来の目的以外のことに利用することは決してありません。また調査結果は集計データや統計量のみが利用されますので、皆様個人にご迷惑をおかけすることはまったくありません。ご記入いただき、同封しました封筒に入れて投函くださいますようお願いいたします。

2000年11月

調査に関してご質問等がありましたら、以下のところまでご連絡ください。

企画・実施：地域社会と高齢者福祉研究会
〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学文学部人間学科 社会学研究室
Tel：076-264-5317
Fax：076-264-6001
研究代表者 橋本和幸

【ご記入にあたって注意していただくこと】

- * 回答は選択肢の番号を○印で囲んでいただくか（ ）の中にご記入いただきます。
- * お答えになりたくない設問、不明な設問につきましては、飛ばして次にお進みください。
- * 断り書きのない場合は、選択肢はひとつだけ選んで下さい。

はじめにあなたのお住まいの地域についてお伺いします。

問1 あなたが現在お住まいの地域はどのような地域ですか。

1. 商業地域	15.2	2. 工業地域	2.3	3. 住宅地域	75.4
4. その他 ()	1.9				

問2 あなたは現在の校下に住んで何年になりますか。（*「校下」とは小学校の通学圏のことをいいます）

() 年

問3 あなたが現在の地域にお住まいになっている理由は何ですか。重要な理由から順番に3つお答えください。特に理由が無い場合は「なし」を選択してください。また、「その他」を選択された方は具体的にお答えください。

1. 生まれたときから住んでいる	16.5	2. 通勤または通学に便利	24.6
3. 施設が整っている	2.9	4. 商店が多い	2.9
5. 人間関係がよい	2.9	6. 治安がよい	2.6
7. 緑が多い	2.9	8. 静かである	6.4
9. その他 ()	17.8	10. なし	5.8

第1位 ()

第2位 ()

第3位 ()

問4 もし引越しされる場合、あなたはどのようなことを重要視して、お住まいの地域を決定されますか。あてはまるものすべてを選んで○をつけてください。

1. 通勤または通学に便利な地域	66.4	2. 施設が整っている地域	51.5
3. 商店が多い地域	44.3	4. 歴史のある地域	8.1
5. 新しく開発された地域	5.5	6. 治安のよい地域	57.3
7. 緑の多い地域	54.4	8. 静かな地域	55.0
9. その他 ()	3.6		

問5 お住まいの地域の居住環境に関する次のa～qの各項目について、あなたは満足していますか、それとも不満ですか。もっともあてはまる番号に○をつけてください。

a 公園の利用や子供が遊ぶ場所などについて

1. 満足	18.4	2. どちらかといえば満足	27.5
3. どちらともいえない	21.0	4. どちらかといえば不満	18.4
5. 不満	11.3		

b 自然や緑の豊かさ、街並みや景観について

1. 満足	15.2	2. どちらかといえば満足	39.8
3. どちらともいえない	23.6	4. どちらかといえば不満	13.9
5. 不満	5.8		

c 治安について

1. 満足	21.0	2. どちらかといえば満足	37.5
3. どちらともいえない	28.2	4. どちらかといえば不満	9.1
5. 不満	2.6		

d 生活において感じる音について

1. 満足	17.2	2. どちらかといえば満足	28.2
3. どちらともいえない	23.9	4. どちらかといえば不満	20.7
5. 不満	8.1		

e 近所づきあいについて

1. 満足	20.4	2. どちらかといえば満足	36.9
3. どちらともいえない	33.0	4. どちらかといえば不満	5.2
5. 不満	3.6		

f 毎日の買い物の利便性について

1. 満足	41.4	2. どちらかといえば満足	35.0
3. どちらともいえない	8.1	4. どちらかといえば不満	9.4
5. 不満	5.2		

g 病院への通院や急病の時の安心感について

1. 満足	30.4	2. どちらかといえば満足	42.7
3. どちらともいえない	15.9	4. どちらかといえば不満	7.4
5. 不満	2.6		

h 通勤について（距離や安全性など）

1. 満足	28.2	2. どちらかといえば満足	28.8
3. どちらともいえない	8.4	4. どちらかといえば不満	7.8
5. 不満	2.6	6. 通勤していない	17.8

i 通学について（距離や安全性など）

1. 満足	17.2	2. どちらかといえば満足	20.4
3. どちらともいえない	8.7	4. どちらかといえば不満	6.5
5. 不満	1.0	6. 通学していない	27.8

j 自宅での駐車場の確保について（月極駐車場も含む）

1. 満足	38.8	2. どちらかといえば満足	25.9
3. どちらともいえない	5.2	4. どちらかといえば不満	9.7
5. 不満	7.4	6. 自動車は利用しない	10.3

k 電車やバスの使いやすさについて

1. 満足	23.9	2. どちらかといえば満足	26.9
3. どちらともいえない	8.7	4. どちらかといえば不満	15.5
5. 不満	12.6	6. 電車やバスは利用しない	10.0

l 自宅周辺の道路混雑について

1. 満足	12.0	2. どちらかといえば満足	24.3
3. どちらともいえない	28.5	4. どちらかといえば不満	21.7
5. 不満	12.3		

m 図書館、美術館、ホールなど文化的施設の利用のしやすさについて

1. 満足	11.3	2. どちらかといえば満足	20.4
3. どちらともいえない	18.8	4. どちらかといえば不満	14.2
5. 不満	13.3	6. 利用しない	19.1

n 行政サービスについて（ごみの収集や道路の美化など）

1. 満足	17.8	2. どちらかといえば満足	35.9
3. どちらともいえない	23.0	4. どちらかといえば不満	15.9
5. 不満	6.5		

o 家屋の広さ、庭の大きさなどについて

1. 満足	24.3	2. どちらかといえば満足	24.9
3. どちらともいえない	15.9	4. どちらかといえば不満	19.4
5. 不満	13.9		

p 固定資産税の高さについて

1. 満足	0.6	2. どちらかといえば満足	5.8
3. どちらともいえない	21.0	4. どちらかといえば不満	17.8
5. 不満	27.2	6. わからない	24.9

q 建て替え、改築などへの制限について（法的規制、隣家との関係など）

1. 満足	3.2	2. どちらかといえば満足	8.1
3. どちらともいえない	23.9	4. どちらかといえば不満	15.2
5. 不満	12.9	6. わからない	32.7

問6 あなたは次のものを主にどこで購入しますか。a～fの項目それぞれについて店の形態、所在地をお答えください。

a 毎日の食料品（米、野菜、肉、菓子など）を買うとき
店の形態

1. 大型店	64.1	2. 個人商店	9.4	3. コンビニエンスストア	4.2
4. 生活協同組合	4.2	5. 通信販売		6. 訪問販売	0.6
7. その他（					）

店の所在地（形態で1～3を選択された方のみお答えください）

1. 自分の住んでいる町内	18.1
2. 自分の住んでいる校下内	22.0
3. 自分の住んでいる校下に隣接する校下内	30.4
4. それ以外の地域	12.0

b 日常的な衣類（下着、普段着など）を買うとき
店の形態

1. 大型店	79.3	2. 個人商店	7.4	3. コンビニエンスストア	1.0
4. 生活協同組合	1.6	5. 通信販売	0.0	6. 訪問販売	0.0
7. その他（					）

店の所在地（形態で1～3を選択された方のみお答えください）

1. 自分の住んでいる町内	7.8
2. 自分の住んでいる校下内	9.4
3. 自分の住んでいる校下に隣接する校下内	35.0
4. それ以外の地域	0.0

c スーツや礼服などの高級な衣料品を買うとき

店の形態

1. 大型店	79.0	2. 個人商店	12.6	3. コンビニエンスストア	0.3
4. 生活協同組合	0.3	5. 通信販売	0.3	6. 訪問販売	0.3
7. その他 ()	0.3		

店の所在地 (形態で1~3を選択された方のみお答えください)

1. 自分の住んでいる町内	4.5	2. 自分の住んでいる校下内	6.1
3. 自分の住んでいる校下に隣接する校下内	23.9	4. それ以外の地域	54.4

d 本や雑誌を買うとき

店の形態

1. 大型書店	65.0	2. 個人書店	20.1	3. コンビニエンスストア	3.6
4. 生活協同組合	0.0	5. 通信販売	1.0	6. 訪問販売	0.0
7. その他 ()	0.3		

店の所在地 (形態で1~3を選択された方のみお答えください)

1. 自分の住んでいる町内	13.3	2. 自分の住んでいる校下内	22.0
3. 自分の住んでいる校下に隣接する校下内	25.2	4. それ以外の地域	29.1

e 日用品 (石鹸、文房具、雑貨など) を買うとき

店の形態

1. 大型店	72.5	2. 個人商店	14.2	3. コンビニエンスストア	4.5
4. 生活協同組合	0.6	5. 通信販売	0.0	6. 訪問販売	0.0
7. その他 ()	0.3		

店の所在地 (形態で1~3を選択された方のみお答えください)

1. 自分の住んでいる町内	12.9	2. 自分の住んでいる校下内	22.0
3. 自分の住んでいる校下に隣接する校下内	28.5	4. それ以外の地域	26.9

f 家電製品を買うとき（冷蔵庫、洗濯機、テレビなど）

店の形態

1. 大型店	62.8	2. 個人商店	28.8	3. コンビニエンスストア	0.0
4. 生活協同組合	0.0	5. 通信販売	0.0	6. 訪問販売	0.0
7. その他（		）	0.0		

店の所在地（形態で1～3を選択された方のみお答えください）

1. 自分の住んでいる町内	5.2	2. 自分の住んでいる校下内	7.8
3. 自分の住んでいる校下に隣接する校下内	27.2	4. それ以外の地域	50.5

問7 あなたは次の場合、どこにある施設を利用していますか。医療機関の形態および所在地を教えてください。

a 風邪をひいたとき

医療機関の形態

1. 総合病院	17.8	2. 個人病院	74.1	3. その他（		）	0.6
---------	------	---------	------	---------	--	---	-----

医療施設の所在地

1. 自分の住んでいる町内	20.1	2. 自分の住んでいる校下内	28.8
3. 自分の住んでいる校下に隣接する校下内	23.9	4. それ以外の地域	20.4

b 歯が痛いとき

医療機関の形態

1. 総合病院	3.2	2. 個人病院	92.6	3. その他（		）	3.6
---------	-----	---------	------	---------	--	---	-----

医療施設の所在地

1. 自分の住んでいる町内	17.2	2. 自分の住んでいる校下内	28.8
3. 自分の住んでいる校下に隣接する校下内	24.9	4. それ以外の地域	25.2

問8 公園の利用についてお聞きします。

a あなたがお住まいの町内に公園はありますか。

1. ある	66.7	2. ない→問9へ	27.5	3. 知らない→問9へ	3.2
-------	------	-----------	------	-------------	-----

以下の3問(b～d)は「公園がある」と答えた方にお聞きします。

b それはどのような公園ですか。

1. ちょっとした小さな公園	59.9
2. 中央公園のような各種イベントができるような大きな公園	3.9
3. その他	2.6

c あなたはその公園を利用していますか。

1. よく利用する	5.5	2. 時々利用する	33.0	3. 利用したことがない	28.2
-----------	-----	-----------	------	--------------	------

d あなたはその公園をどのような目的で利用していますか。

1. 気分転換(散歩、ジョギングなど)	19.7	2. 町内会や校下のイベント	11.0
3. 学校のイベント	0.0	4. その他の団体(環境団体、企業など)のイベント	0.0
5. その他()	6.5		

問9 あなたが日常的に利用している余暇施設についておたずねします。主に利用されている映画館およびスポーツ施設の所在地を教えてください。

a 映画館

1. ルネス9シネマ	17.2
2. 2. ワーナーマイカルシネマズ(御経塚)	12.9
3. ワーナーマイカルシネマズ(東金沢)	1.0
4. 4. 香林坊の映画館	5.5
5. 金沢駅周辺	2.3
6. 6. その他	0.3
7. 利用しない	47.2

お住まいの地域から見た映画館の所在地

1. 自分の住んでいる町内	0.3	2. 自分の住んでいる校下	1.6
3. 自分の住んでいる校下に隣接する校下	12.3	4. それ以外の地域	30.7

b よく利用するスポーツ施設（スポーツクラブ、バッティングセンター、テニス場、体育館、野球場など）の所在地を教えてください。

1. 自分の住んでいる町内	1.6	2. 自分の住んでいる校下	4.2
3. 自分の住んでいる校下に隣接する校下	4.2	4. それ以外の地域	21.7
5. 利用しない	55.3		

次に地域での活動についてお伺いします。

問10 次の中であなたが参加しておられるものすべてを選んで番号に○をつけてください。

1. 自治会、町内会	57.9
2. 2. 婦人会、青年団、老人会	23.6
3. 宗教団体	5.2
4. 教育や保育に関するグループ・子供会	6.5
5. 趣味・スポーツ等の教室やカルチャーセンター	20.4
6. ボランティアグループや社会奉仕活動	7.4
7. 生活協同組合や消費者団体	10.7
8. その他	1.9
9. どれにも参加していない	24.6

問11 問10で「自治会・町内会」に○をつけた方にお伺いします。自治会や町内会の活動にどの程度参加されていますか。

1. よく参加する	12.6	2. 時々参加する	29.8
3. あまり参加しない	14.9	4. まったく参加したことがない	2.6

問12 次の町内会の活動についてどう思われますか。a～dの各項目について最もあてはまるものを回答欄から選んでお答えください。町内会に入っていない方も、入っていると想定してお答えください。

	1. 積極的に参加したい	2. 参加したいが事情があって参加できない	3. 本当は参加したくないが、仕方なく参加する	4. 参加したくないので参加しない
a. 廃品回収	37.5	11.3	22.3	12.3
b. バザー	20.1	14.9	19.1	21.7
c. ゴミ拾い	33.7	12.6	23.3	10.7
d. 祭り	20.4	13.3	23.0	20.4

問 1 3 あなたは次の a～c についてどの程度行っていますか。それぞれの項目について最もあてはまるものを回答欄から選んでください。

	1. なし	2. 数年に 1 度	3. 年に 数回	4. 月に 1 回以上	5. 月に数回	6. 週に 1 回
a. 自宅に隣人や友人が遊びに来る	14.2	6.8	27.8	15.5	19.1	8.1
b. 近い親戚と集まる	14.2	10.7	41.7	12.0	8.7	4.2
c. ボランティア活動をする	55.0	6.1	13.3	3.6	3.2	1.9

問 1 4 あなたが日頃、親しくおつきあいしているご近所の人は何人いますか。

() 人

問 1 5 あなたが日頃、同居しているご家族以外で親しいと考える人を 3 人思い浮かべてください。その 3 人を親しい順に A さん、B さん、C さんとします。

a その人とあなたはどのような関係ですか。

1. 親または子	2. 兄弟姉妹
3. 親類（親、子、兄弟姉妹を除く）	4. 職場の人
5. 近所の人	6. 友人（親類、職場の人、近所の人を除く）
7. 誰もいない	

A さん () B さん () C さん ()

b その人はどこに住んでいますか。

1. 校下内	2. 市内
3. 県内	4. 福井県・富山県
5. それ以外	

A さん () B さん () C さん ()

問16 あなたは現在お住まいの地域に今後も続けて住みたいと思いますか。それとも他へ移りたいですか。

1. いつまでも住みたい	35.6	2. なるべく住んでいたい	36.2
3. できれば移りたい	18.8	4. 早く移りたい	2.3
5. どこに住んでもかまわない	5.2		

問17 今日、国際化社会ともいわれ、地域に居住する外国人がますます増加していくことが予想されます。あなたのお住まいの地域に外国人の居住者が増加してきた場合、どう思いますか。

1. よいと思う	25.6	2. どちらともいえない	44.3
3. よくないと思う	9.4	4. わからない	19.4

高齢者福祉サービスについてお伺いします。

問18 あなたは高齢者に対する地域福祉施設（善隣館、地区福祉センター、公民館など）や福祉サービスについて関心がありますか。

1. とても関心がある	23.9	2. 少し関心がある	44.7
3. どちらともいえない	10.7	4. あまり関心がない	17.5
5. まったく関心がない	1.9		

問19 あなたはお住まいの校下にどのような福祉施設（善隣館、地区福祉センター、公民館など）があるかご存知ですか。

1. よく知っている	18.1	2. ある程度は知っている	45.0
3. あまり知らない	27.8	4. まったく知らない	8.1

問20 あなたはお住まいの校下にある福祉施設（善隣館、地区福祉センター、公民館など）で行われている福祉活動の内容を知っていますか。

1. よく知っている	5.8	2. ある程度は知っている	28.8
3. あまり知らない	41.4	4. まったく知らない	23.0

問2 1 あなたはお住まいの校下で行われている高齢者福祉活動（老人給食会、福祉バザーなど）に参加していますか。

1. 必ず参加している	0.6	2. ときどき参加している	9.4
3. あまり参加していない	8.7	4. ほとんど参加していない	20.1
5. まったく参加していない	58.6		

問2 2 あなたはお住まいの校下以外で行われている高齢者福祉活動（老人給食会、福祉バザーなど）に参加していますか。

1. 必ず参加している	0.3	2. ときどき参加している	4.2
3. あまり参加していない	5.8	4. ほとんど参加していない	14.2
5. まったく参加していない	73.1		

問2 3 もしお住まいの校下にある善隣館、地区福祉センター、公民館から福祉活動に関する協力を求められた場合、あなたはどうかされますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

1. 積極的に協力する	3.2	2. できるだけ協力する	61.8
3. 仕方なく協力する	21.0	4. 協力しない	10.0

問2 4 あなたがお住まいの校下にある福祉施設（善隣館、地区福祉センター、公民館など）は高齢者福祉の向上に役立っていると思いますか。

1. 大いに役立っている	7.8	2. ある程度は役に立っている	29.4
3. どちらともいえない	11.7	4. どちらかといえば役に立っていない	5.8
5. まったく役立っていない	2.3	6. わからない	40.8

問2 5 あなたは校下にある善隣館や公民館などをどの程度利用していますか。

1. まったく利用していない	62.1	2. 年に数回	26.2
3. 月に数回	5.2	4. 週に1回	1.9
5. 週に数回	1.0	6. 毎日	0.3

問26 あなたご本人の現在ないし将来の生活を考えた場合、生活面で頼りになるのは次のどの集団や組織でしょうか。頼りになる順番に3つお答えください。頼りになる集団（組織）がない場合は「誰もいない」を選択してください。

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 1. 家族、親族 | 2. 町内や近隣の人々 |
| 3. 友人、知人（町内や近隣の人々を除く） | |
| 4. 一般企業（民間保険、民間病院、民間老人ホーム、シルバー産業） | |
| 5. 非営利組織（協同組合、ボランティア組織を含む） | |
| 6. 行政、自治体（公営老人ホームやサービス、公的年金、保険を含む） | |
| 7. 誰もいない | |

1 番目 ()
 2 番目 ()
 3 番目 ()

次に自然環境に対する意識についてお伺いします。

問27 あなたはこれまでに環境保護のための活動に参加したことがありますか。a～eの項目それぞれについて下の回答欄から1つ選んでお答えください。

	1. よく参加する	2. 何度か参加したことがある	3. 参加したことがない
a. 木を植えたりするなどの緑化活動	1.3	12.9	72.8
b. 自然保護グループへの募金	1.3	27.8	56.3
c. 自然観察会や、探鳥会などへの参加	0.3	4.5	79.3
d. 自然を破壊することに対する反対運動	0.3	3.2	80.9
e. 自然保護団体の会報購読	0.3	4.2	79.9

問28 環境保護のための活動への参加意思についてお伺いします。今後、環境保護活動に参加してみたいと思いますか。次のa～eの各項目について、参加意思、およびそのように思われる理由をそれぞれの回答欄から1つ選んでください。

a 木を植えたりするなどの緑化活動
参加意思

1. ぜひ参加したい	6.1	2. できれば参加したい	42.7
3. あまり参加したくない	27.5	4. 参加したくない	16.8

理由

1. 知人や友人が参加しているから	1.3	2. 時間に余裕があるから	2.3
3. 社会貢献できると思うから	18.5	4. いろいろな人と出会えるから	8.1
5. やったことがないから	11.0	6. 知識や経験が得られるから	4.9
7. 時間に余裕がないから	12.6	8. 興味がないから	10.4
9. 意味がないと思うから	1.0	10. 経済的なゆとりがないから	3.6
11. まわりに参加している人がいないから	4.2		
12. その他 ()			4.9

b 自然保護グループへの募金
参加意思

1. ぜひ参加したい	2.3	2. できれば参加したい	37.9
3. あまり参加したくない	28.8	4. 参加したくない	18.8

理由

1. 知人や友人が参加しているから	0.6	2. 時間に余裕があるから	0.6
3. 社会貢献できると思うから	23.6	4. いろいろな人と出会えるから	3.9
5. やったことがないから	8.1	6. 知識や経験が得られるから	1.6
7. 時間に余裕がないから	6.5	8. 興味がないから	9.4
9. 意味がないと思うから	3.2	10. 経済的なゆとりがないから	11.3
11. まわりに参加している人がいないから	3.2		
12. その他 ()			6.5

c 自然観察会や、探鳥会などへの参加
参加意思

1. ぜひ参加したい	3.9	2. できれば参加したい	29.1
3. あまり参加したくない	29.1	4. 参加したくない	30.1

理由

1. 知人や友人が参加しているから	0.6	2. 時間に余裕があるから	1.0
3. 社会貢献できると思うから	1.6	4. いろいろな人と出会えるから	4.5
5. やったことがないから	7.4	6. 知識や経験が得られるから	15.9
7. 時間に余裕がないから	12.9	8. 興味がないから	21.0
9. 意味がないと思うから	1.6	10. 経済的なゆとりがないから	2.6
11. まわりに参加している人がいないから	6.1		
12. その他 ()			5.5

d 自然を破壊することに対する反対運動
参加意思

1. ぜひ参加したい	4.5	2. できれば参加したい	24.3
3. あまり参加したくない	37.9	4. 参加したくない	22.7

理由

1. 知人や友人が参加しているから	0.3	2. 時間に余裕があるから	0.6
3. 社会貢献できると思うから	13.6	4. いろいろな人と出会えるから	1.9
5. やったことがないから	9.4	6. 知識や経験が得られるから	5.2
7. 時間に余裕がないから	14.6	8. 興味がないから	11.7
9. 意味がないと思うから	5.5	10. 経済的なゆとりがないから	3.6
11. まわりに参加している人がいないから	8.7		
12. その他 ()			4.5

e 自然保護団体の会報購読
参加意思

1. ぜひ参加したい	0.6	2. できれば参加したい	13.9
3. あまり参加したくない	30.7	4. 参加したくない	36.9

理由

1. 知人や友人が参加しているから	0.3	2. 時間に余裕があるから	
3. 社会貢献できると思うから	2.3	4. いろいろな人と出会えるから	1.3
5. やったことがないから	6.5	6. 知識や経験が得られるから	8.4
7. 時間に余裕がないから	10.7	8. 興味がないから	24.3
9. 意味がないと思うから	2.3	10. 経済的なゆとりがないから	8.7
11. まわりに参加している人がいないから	5.5		
12. その他 ()			3.2

問29 石川県内には「白山の自然を守る会」「河北潟湖沼研究所」「アースデイ小松」など、自然保護に取り組んでいる環境NPOや市民グループがあります。あなたはこうしたグループの活動についてご存知ですか。

1. よく知っている	1.6	2. ある程度は知っている	12.6
3. ほとんど知らない	30.1	4. まったく知らない	52.1

最後にあなた自身のことについてお伺いします。

問30 あなたは男性ですか、女性ですか。

1. 男性	37.5	2. 女性	61.2
-------	------	-------	------

問31 あなたは現在何歳ですか。

() 才

問32 あなたは現在配偶者がいますか。

1. いる	75.4	2. 離別	2.9	3. 死別	8.7	4. 未婚	11.0
-------	------	-------	-----	-------	-----	-------	------

問3 3 あなたと家計を共にしていらっしゃるご家族についてお伺いします。単身赴任、入院などで一時的にお宅を離れている方、仕送りをしている学生のお子さん等も含めてお答え下さい。

【aについては下の選択肢の番号をご記入下さい】

a 続柄

01. 配偶者	02. 子供	03. 子供の配偶者
04. 本人の両親	05. 配偶者の両親	06. 本人の兄弟姉妹
07. 配偶者の兄弟姉妹	08. 本人の祖父母	09. 配偶者の祖父母
10. 孫	11. 本人の曾祖父母	12. 配偶者の曾祖父母
13. その他		

	本人との続き柄	a. 続柄コード		b. 性別	c. 年齢	d. 同居	
b その方の性別をお教えてください。	例：配偶者	0	1	1男 2女	6	0	1同 2別
				1男 2女			1同 2別
c その方の年齢をお教えてください。				1男 2女			1同 2別
				1男 2女			1同 2別
				1男 2女			1同 2別
d その方と現在同居なさっていますか。				1男 2女			1同 2別
				1男 2女			1同 2別
				1男 2女			1同 2別
				1男 2女			1同 2別

問3 4 あなたの現在のお仕事についてお聞きします。

a あなたのお仕事は大きくわけて以下のどれにあたりますか。

1. 経営者、役員（重役）	4.2
2. 常時雇用されている従業員（正社員，正職員）	29.1
3. 臨時雇用、パート、アルバイト	16.8
4. 自営業主（雇用者なし）	4.5
5. 自営業主（雇用者あり）	3.2
6. 家族従業者（家業の手伝い）	6.5
7. 内職	1.6
8. 無職	30.1
9. 学生	1.3

b あなたの勤め先での仕事内容を具体的に教えてください。住宅の設計、ウエイトレス、和菓子の製造、板前、養護教諭、保険セールスの指導、稲作など職種のわかるように具体的にお答えください。

()

c 職業をお持ちの方にお聞きします。あなたの通勤手段および通勤時間を教えてください。

通勤手段（2種類以上の手段を併用している場合、すべてお答えください）

1. 車 48.3	2. 自転車 15.9	3. 徒歩 22.5	4. 電車 2.5	5. バス 8.3
6. その他 () 2.5				

所要時間（片道）

1. 10分未満 33.9	2. 10分～20分未満 33.3
3. 20分～30分未満 16.0	4. 30分以上 16.8

学生の方にお聞きします。あなたの通学手段および通学時間を教えてください。

通学手段（2種類以上の手段を併用している場合、すべてお答えください）

1. 車 2.7	2. 自転車 23.0	3. 徒歩 23.0	4. 電車 23.0	5. バス 5.3
6. その他 () 23.0				

時間（片道）

1. 10分未満 0.0	2. 10分～20分未満 0.0
3. 20分～30分未満 33.3	4. 30分以上 66.7

問35 あなたが最後に行かれた（または現在通っている）学校は、次のどれにあたりますか。

新制

01. 新制中学校 6.8 02. 中学校卒業後、専門学校 4.2 03. 新制高校 28.5
04. 高校卒業後、専門学校 12.6 05. 新制短大・高専 6.4
06. 新制大学 11.7 07. 新制大学院 1.0

旧制

11. 旧制尋常小学校 1.3 12. 旧制高等小学校 2.3
13. 旧制中学校・実業学校・師範学校・旧制（高等）女学校 10.0
14. 旧制高校・高専 1.3 15. 旧制大学 0.3 16. 旧制大学院 0.0
77. その他 () 88. 学歴なし 0.3

問36 最後に収入についてお伺いします。

- a 過去1年間のお宅の収入は税込みでどれくらいでしょうか。他のご家族の収入も含めて下の表の中から番号でお答えください。

01. 収入なし 0.3	02. 100万円未満 2.3	03. 100~200万円未満 4.9
04. 200~300万円未満 6.5	05. 300~400万円未満 10.4	
06. 400~500万円未満 10.0	07. 500~600万円未満 7.4	
08. 600~700万円未満 4.2	09. 700~800万円未満 6.1	
10. 800~900万円未満 6.8	11. 900~1000万円未満 7.4	
12. 1000~1250万円未満 5.2	13. 1250~1500万円未満 5.8	
14. 1500~2000万円未満 2.9	15. 2000万円以上 0.6	

- b それでは、過去1年間のあなた個人の収入は税込みでどれくらいでしょうか。臨時収入、副収入も含めて、下の表の中から番号でお答えください。

01. 収入なし 6.5	02. 100万円未満 15.9	03. 100~200万円未満 11.3
04. 200~300万円未満 13.6	05. 300~400万円未満 12.3	
06. 400~500万円未満 6.5	07. 500~600万円未満 5.2	
08. 600~700万円未満 2.9	09. 700~800万円未満 2.6	
10. 800~900万円未満 1.6	11. 900~1000万円未満 1.6	
12. 1000~1250万円未満 1.3	13. 1250~1500万円未満 0.3	
14. 1500~2000万円未満 1.0	15. 2000万円以上 0.0	

これで質問は終了です。最後に記入もれがないかご確認いただければ幸いです。

お忙しいところ、ご協力いただき本当にありがとうございました。

- (*) 恐縮ですが、聞きもらした項目があったときお尋ねしたいと思いますので、お電話番号を教えてくださいませんか。

076-()-()

電話なし

同封の封筒に入れてそのままポストに投函してください。

(平成 11～13 年度科学研究費補助金〔基盤研究(B)(2)〕研究成果報告書)

2002 年 3 月 20 日発行

編集 岩本健良

発行 金沢大学文学部人間学科 社会学研究室

〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学文学部人間学科 社会学研究室
TEL. 076-264-5308 (岩本研究室)
076-264-5317 (社会学助手室)
FAX. 076-234-4061 (岩本研究室)
076-264-6001 (社会学助手室)

E-mail iwamoto@kenroku.kanazawa-u.ac.jp
印刷所 田中昭文堂印刷株式会社
〒920-0377 金沢市打木町東 1448
TEL. 076-269-7788

**Social Service for the Aged
and the Community**

Working Papers

Edited by

Takeyoshi IWAMOTO

2002

Faculty of Letters
Kanazawa University
Kakuma-machi, Kanazawa Ishikawa, 920-1192, JAPAN